

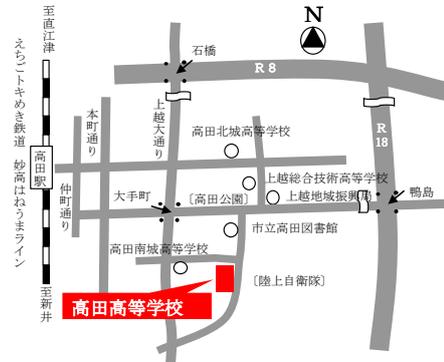


66 新潟県立高田高等学校

スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 指定校

- 所在地 上越市南城町3丁目5番5号
〔最寄りの交通機関〕
えちごトキめき鉄道
妙高はねうまライン 高田駅下車
高田駅より徒歩25分

- 電話 025-526-2325
- FAX 025-523-0825
- URL <http://www.takada-h.nein.ed.jp/>
- E-mail school@takada-h.nein.ed.jp
- 校長名 加藤 徹男
- 課程 全日制
- 創立 明治7年(1874年)
- 生徒数 720人
(令和2年5月1日現在)



学年 学科	1年		2年		3年		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
普通科	98	103	109	91	85	114	292	308
理数科	29	11	28	12	27	13	94	36
計	127	114	137	103	112	127	376	344

- 入学者選抜 (令和3年3月実施予定)

学科	募集定員 (予定)	特色化 選抜	一般選抜		
普通	200		調査書：学力検査 (3：7)		学校独自検査 なし
理数	40		調査書：学力検査 (3：7)	傾斜配点 (数学・理科)	学校独自検査 なし

※ 令和3年度募集学級数及び募集定員確定後、ホームページを更新します(11月上旬予定)

学校目標

高田高等学校は、明治7年の創立以来、上杉謙信公の「第一義」ということばを校是に掲げています。第一義とは、「究極の真理、最も大切なもの」を意味し、常に自分の人生において最も大切なものは何かを考え、力強く生きる生き方を多くの卒業生が求め続けてきました。生徒たちには、自主自律の校風の中で、個性や長所をいかにして伸ばすかを考えながら、自ら課題を見つけ、持てる力を思い切り発揮してほしいと願っています。校歌にも謳われているように、「百折不撓」の気力ある生徒の入学を大いに期待しています。



体育館正面に掲げられた「第一義」

目指す学校像のコンセプト

高高 未来 Clue(ミラクル) Plan

～自らの「第一義」への鍵を探して、未来へのモチベーションを高めよう！～

本校独自のキャリア教育プログラム「高高 未来 Clue(ミラクル) Plan」と、SSH指定校としての高度な理数教育を実践する。そのために次の5点を柱として推進する。

- ① 生徒の人間力の育成と進路希望達成のための効果的なキャリア教育のプログラムを推進する。
- ② SSH校として、日本や世界の科学技術の未来を牽引し・支える人材の育成を目指す。
- ③ 主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を育成する。
- ④ 生徒自らの可能性を高め、社会で活躍する意欲を培い、人生を切り拓き挑戦する気概を育む。
- ⑤ 高い倫理観と課題解決能力を備え、グローバル化している現代社会で活躍できる人材を育成する。

スーパーサイエンスハイスクール (SSH)

高田高校は文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール (SSH) の指定を受け、次代を担う人材の育成に取り組んでいます。SSHは、数・理を中心に独自のカリキュラムによる授業や、大学・研究機関などとの連携、地域の特色ある研究などに取り組み、国際的な科学技術系人材を育成するための事業です。

本校ではこの科学技術系人材の育成を、理数系に特化した教育と考えるのではなく、科学的な視点を持ち、広く社会に貢献できる人材の育成と捉え、全校生徒を対象に「探究型の学習」に取り組んでいます。そして様々な体験的な学習、発表の機会をとおして、「知識・技能」のみならず、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力」をバランスよく育成します。

2つの事業の柱

(1) 探究型の学習の推進

①理数科「MC課題研究」(理数科生徒を対象)

1年では、研究活動に必要な知識や技能を身に付けるため、理科基礎実験、課題研究に向けた講義と実験、フィールドワーク、大学等での先端実験講座に参加します。また、上級生の研究を参考にしたり、他の先行研究を調べながら、自分の研究のテーマを考えます。2年では、研究課題に対して仮説を立て、実験を行い、それを考察しまとめます。3年では、研究内容を校外で発表し、その後研究をさらに深めて論文にまとめます。



<

②全生徒対象「MC探究」(全校生徒を対象)

論理的思考力の育成、プレゼンテーションスキルの獲得、問題発見や課題解決能力の向上を目指します。1年ではプレゼミ活動として地域の課題を用いた探究型の学習を行います。2年では、日本の大手企業からもらったミッションに対し、グループごとに解決策を考えます。秋には実際に企業を訪問し、解決策のプレゼンテーションを行います(東京研修)。その後、校内でも発表会を行い、最後に研究を論文にまとめます。

③授業改善に係る取り組み

教科の学習内容を発展させて、探究型の学習を取り入れます。授業内の学習において生徒の主体性が高まる工夫を行います。また、複数教科を融合して、上越の科学を深く学ぶクロスカリキュラム「上越サイエンススタディ」を実施します。キャリア観の形成を育みながら、

主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業改善に取り組んでいます。

(2) 科学を用いた国際的な交流の拡大

①海外高校生との科学交流

希望する生徒がベトナム社会主義共和国を訪問し、現地の高校生と科学を用いた交流を行います。共通の科学テーマに基づいて研究を行い、科学的な学習に関するプレゼンテーションを行います。その後ディスカッションを行い、提言をまとめます。また、事前事後学習として、テーマに基づいた研究を行うとともに、インターネットを用いて交流を行います。



<ディスカッションの様子>

②英語プレゼンテーション力を高める学習

英語の授業の中で、グループごとに英語でプレゼンテーションを行います。昨年度は「上越の魅力発信」などのテーマで交流しました。

学校生活

(1) 授業

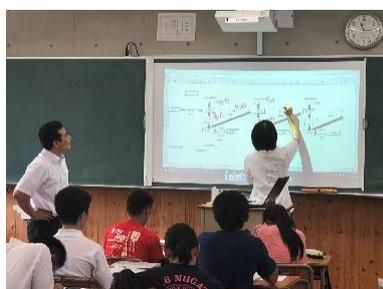
授業は1時限単位を55分（LHRは50分）とし、3学期制で、1日6時限、理数科は火曜日に7時限を実施しています。また、金曜日は7限にLHRなどを実施します。

①**普通科**では、1年に芸術を除いて共通の科目を履修します。2、3年では、自分の進路希望に応じて多様な科目選択ができるようになっています。

②**理数科**では、数学と理科をより深く学ぶため、授業時数が普通科に比べてやや多くなっています。2年から2コースに分かれ、サイエンスコースは将来の科学技術を担う人材の育成を、メディカルコースは医学部医学科に進学して将来は医師として活躍する人材の育成を、それぞれ目指しています。

<校時>	
始業	8:30～
S HR	8:40～ 8:45
1 限	8:55～ 9:50
2 限	10:00～10:55
3 限	11:05～12:00
4 限	12:45～13:40
5 限	13:50～14:45
6 限	14:55～15:50
7 限	16:00～16:50
放課後	補習、部活動

※普通科・理数科ともに、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）による本校独自の科目を設けています。



<電子黒板を使った授業>



<科学実験の様子>



<医療体験実習>

(2) 学校行事

高高祭（文化祭）や全校登山、球技大会など、多彩かつ活発に行われています。高高祭や球技大会の中心的役割を果たす生徒会の活動も積極的で、選挙で生徒会長を選出し、副会長以下の役員を会長が決めることになっています。任期は1年です。



<全校登山>



<高高祭：クラス演劇>

<主な学校行事>

4月	入学式
5月	創立記念式典・講演会
6月	高高祭
7月	全校登山
10月	遠足、マラソン大会 東京研修・ベトナム研修（2年）
1月	スキー授業（1年）
3月	卒業式

また、毎年夏に行われる全校登山（2泊3日）は、大正6年の旧制高田中学校時代から行われている伝統行事です。妙高・立山・苗場など6コースの中から好きなコースを選んで登ります。

10月に実施する東京研修では、日本を代表する企業等を訪問します。企業訪問では、事前に職業研究を深め、ゼミ活動のプレゼンテーションを実施します。また希望者はSSH事業の一環としてベトナム研修に参加できます。現地の高校生との交流や現地の日本企業を訪問して研修を深めます。



<東京研修：企業訪問の様子>



<ベトナム研修：マングローブ調査>

(3) 部・同好会活動

多くの生徒が所属して活発に活動しています。運動部では野球・水泳・卓球・バドミントン・バスケットボール・バレーボール・テニス・陸上競技・剣道等、また、文化部では管弦楽・合唱・囲碁将棋・百人一首かるた等の各部が活発に活動し、実績を上げています。

なお、部活動などに所属し、卒業までに優秀な成績を収めて本校の名誉を高めた生徒には、東京六華会（卒業後、東京で活躍する卒業生による学校支援組織）から記念メダルが贈呈されます。

部		同好会
陸上競技	ラグビー	文芸創作
体操	登山	軽音楽
水泳	弓道	クッキング
バレーボール	地学	生物
バスケットボール	管弦楽	数学リリック
テニス	合唱	英語
ソフトテニス	美術	ロボット
卓球	書道	化学
バドミントン	百人一首かるた	
野球	演劇	
剣道	囲碁将棋	
サッカー		



創部 120 年を超える野球部。これほどの伝統を持つ学校は、全国で数える程しかない。



生徒の自主運営を伝統とする管弦楽部。本番のステージも生徒がタクトを振る。

(4) 進学に向けて

普通科、理数科ともにほぼ全員が大学進学を希望しています。本校では、進路指導部を中心に各自の目標が達成できるように進路学習や学力向上対策を1・2年生から体系的に行っています。こうした結果、多くの生徒が目指す大学への進学を果たしています。(次ページ参照)

- ・補習 1・2年は夏期特編、3年は夏季休業中と6月からの平日放課後。各学年とも各教科で随時実施。
- ・土曜講座 年間5～8回実施
- ・大学訪問 東北大学オープンキャンパス(2年希望者)
- ・模擬試験 校内実力テスト(1・2年3回、3年1回) 校外模試(1年6回、2年8回、3年多数)
- ・東京研修 企業にて課題発表プレゼンテーション、班別研修(大学・研究所・企業訪問)など
- ・講演会等
 - 進路ガイダンス
 - 卒業生や社会人による講演会
 - 予備校等講師による講演会(1・2年2回、3年1回)
 - 進路意識啓発講演会(1年)、進路分野別ガイダンス(2、3年)
 - 保護者対象講演会(各学年2回)
- ・医師体験事業 上越総合病院、県立中央病院
- ・新潟大学医学部医学科体験講座
- ・メディカル講演会

(5) その他

- ・スクールカウンセラーや臨床心理士が定期的に来校し、生徒や保護者の相談に応じています。
- ・全普通教室、特別教室や実験室に、電子黒板やプロジェクター及びWi-Fiを導入し、授業やさまざまな活動で効果的に活用しています。
- ・普通教室全室と特別教室や実験室にエアコンが設置され、夏場でも快適な環境の中で学習ができます。

学校納付金

学校納付金には、次のようなものがあります。

- ① 入学料 5,650円(入学時)
- ② 授業料 118,800円(年額)

※平成26年度入学生から、所得制限により就学支援金が支給されない世帯(市町村民税所得割額の保護者(親権者)の合算が304,200円以上の世帯)については、上記の授業料を納めていただきます。なお、就学支援金支給の手続等については、別途お知らせいたします。

- ③ 学年費 123,000円(年額 教材・模試費、進路指導費、登山費、1年スキー授業積立他)
- ④ その他 18,000円(年額 生徒会費、保護者会費、同窓会費、後援会費)

※入学時には別途、教科書、副教材費として約35,000円、体操着、内履きシューズ等の費用として約20,000円が必要となります。

※上記は令和2年4月入学生のものであります。

進路状況

令和2年3月卒業生の進路先

進路 学科	国公立 大 学	私立 大 学	短期 大 学	各種専 門学校	就職	文科省 管轄外	進学 準備等	合計
普通科	100	88	4	6	2	1	28	229
理数科	27	11	0	0	0	0	0	38
計	127	99	4	6	2	1	28	267

主な大学の合格者数（令和2年春 現役のみ）

〔国公立大〕

弘 前	1
東 北	6
山 形	2
福 島	3
茨 城	1
筑 波	2
群 馬	2
宇 都 宮	1
埼 玉	3
千 葉	3
電気通信	1
東京学芸	2

東京工業	1
電気通信	1
横浜国立	2
新 潟	36
上越教育	3
富 山	13
金 沢	15
山 梨	2
信 州	4
静 岡	2
岐 阜	1
名 古 屋	2

京 都	1
京都工織	1
大阪教育	1
琉 球	1
高崎経済	2
東京都立	1
横浜市立	1
新潟県立看護	6
新潟県立	4
都留文科	2
その他公立	8
(医学科)	(4)
国公立大 総 数	137

〔私立大〕

青山学院	3
慶応義塾	2
國 學 院	2
駒 澤	10
芝浦工業	8
専 修	2
中 央	14
成 蹊	2
成 城	1
東京女子	1
東京電機	3
東京農業	5

東京理科	7
東 洋	26
日 本	15
日本女子	1
法 政	9
明 治	6
明治学院	2
立 教	7
早 稲 田	2
同 志 社	1
立 命 館	5
その他私立	320
私立大 総 数	454

在校生からのメッセージ

3年 佐久間 英男

あなたはどんな高校生活を送りたいですか。充実した日々を送りたいのではないかと思います。高田高校は、あなたの理想を実現することができる学び舎です。

私が思うに、高田高校の一番の魅力は「多様性」です。上越地域の至る所から生徒が集まり、それぞれの個性に毎日刺激を受けることができます。また、「愛」があります。個性を潰さずにそれぞれが尊重し合い、共に成長することができます。

そして「情熱」があります。学習だけでなく、部・同好会活動や習い事、趣味などそれぞれが好きなことに熱中しています。

あなたも、魅力溢れる高田高校であなただけの3年間を築いてみませんか。

